

万国博覧会参加の記録

—1893年シカゴ万国博覧会—

万国博覧会は1851（嘉永4）年、ロンドンではじめて開催され、その後、西ヨーロッパ各国でたびたび開かれました。万博には、最先端の工業製品をはじめ、諸外国の物産が出品されたことから、万博は「西洋各国の物産に触れ、機械技術を伝習する場」、また「日本製品を紹介し、諸外国へ売り込む場」と認識され、日本も積極的に参加しました。

1893（明治26）年のシカゴ万博（閣龍世界博覧会）は、コロンブスの大陸到達400年を記念して開催され、市内と会場を結ぶ高架鉄道や大観覧車が観客を喜ばせました。日本も平安時代から江戸時代の建築様式をミックスさせた日本館（鳳凰殿）を建設した他、工芸館、農業館、運輸館など多くのパビリオンに出品しました。

「婦人館」への出品も好評で、「日本婦人書斎及び居間付家具装備品」と「日本婦人ノ服装・楽器」が「日本婦人ノ優美典雅ナル生活状況ヲ視知セシムル」ものと評価され、また美術品としての価値も高かったため、博覧会事務局から賞状とメダルが授与されました。あて名が「Princess Mori（プリンセス・モウリ）」となっていますが、これは旧藩主毛利元徳の妻、毛利安子のことです。彼女は閣龍世界博覧会日本婦人委員会委員長として出品に尽力しました。

展示①「シカゴ万博パビリオンと日本出品風景」 9月1日（土）～9月16日（日）

展示②「シカゴ万博表彰状（英文）とメダル」 9月18日（火）～9月27日（木）



（一）日本館内景

「臨時博覧会事務局報告書附図」(梶山家文書 1950)より



「シカゴ万国博覧会メダル」(毛利家文庫 58 絵図 1148)

【展示キャプション】



シカゴ万博会場図および鳳凰殿(日本館)

「臨時博覧会事務局報告書附属図」(梶山家文書1950)



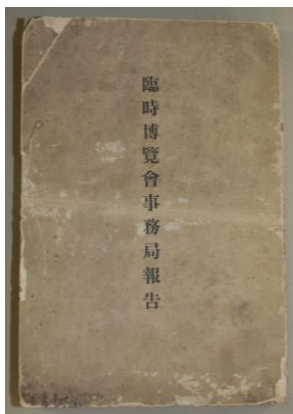
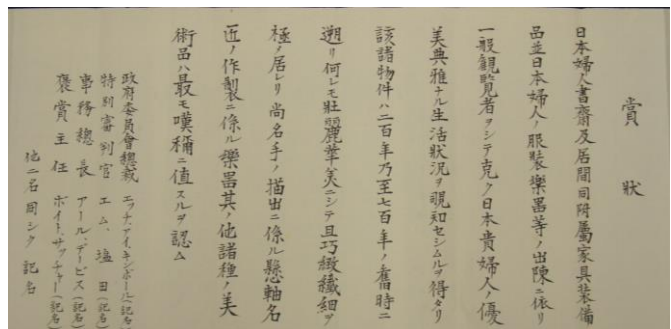
プリンセス・モウリ(毛利安子)あて英文表彰状

明治29年[1896年]

毛利家文庫 58絵図1148

婦人館内に出品された、「日本婦人の居間および化粧の間」に対して贈られた英文の表彰状です。宛名は「PRINCESS MORI(プリンセス・モウリ=毛利安子)」となっています。彼女は閣龍(コロンブス)世界博覧会日本婦人委員会委員長として出品に尽力しました。画面右下に描かれている人物がコロンブスと思われます。

下は、英文の表彰状とともに渡された日本語訳です。



『臨時博覧会事務局報告』

明治28年[1895年]5月

梶山家文書1942

シカゴ万国博覧会の報告書です。写真や図を収めた『臨時博覧会事務局報告附属図』と併せて見ることにより、この博覧会について、準備段階から事後処理まで詳しく知ることができます。

展示個所は婦人会に関する部分です。閣龍(コロンブス)世界博覧会日本婦人委員会の組織について、委員長の毛利安子以下、メンバーの名が見えます。

この委員会が組織された明治25年7月13日以後、博覧会出品のために、あわただしく活動する毛利安子の様子が当館所蔵「御奥日記」(毛利家文庫5忠愛公115)に記載されています。



婦人館内に出品された「日本婦人の居間および化粧の間」

明治28年[1995年]5月

梶山家文書1950

優美なさまが見て取れます。



シカゴ万国博覧会受賞メダルおよびアルミニウムケース

明治29年[1896年]

毛利家文庫 58絵図1148

受賞のメダルとそのアルミニウムケースです。メダルにはコロンブスによる大陸到達400年を記念する図柄と文字が刻まれています。また、「PRINCESS MORI」の字が見えます。

アルミニウムは、19世紀後半になって、ようやく、電気を用いた精錬法が確立した新しい金属で、当時は、まだ珍しかったと思われます。ケースには繊細な模様が施されています。

品名	氏名(団体名)
米	防長米改良組合取締所
水飴	蒲生嘉四郎
塩漬鰹(いわし)	竹内七三郎
鯨油	川尻捕鯨会社
大理石材	笠井順八
生糸	岩国製糸会社
生糸	塩島嘉兵衛
麻糸	中村三治
麦稈真田(むぎわらさなだ)	野村安右衛門
麦稈真田(むぎわらさなだ)	小原松千代

山口県内の受賞者一覧

「官報」より作成

(明治27年[1994年]4月9日～18日)

シカゴ万国博覧会の受賞者の発表は、明治27年4月9日から18日にかけての「官報」紙面上でなされました。「日本婦人会長毛利公爵夫人」の名も見えます。

受賞者は全国で1591を数え、これはドイツに次ぐ数の多さでした。また、山口県内の受賞者は10名(団体)で、その顔ぶれは次のとおりです。